

令和6年度病害虫発生調査速報第1号について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

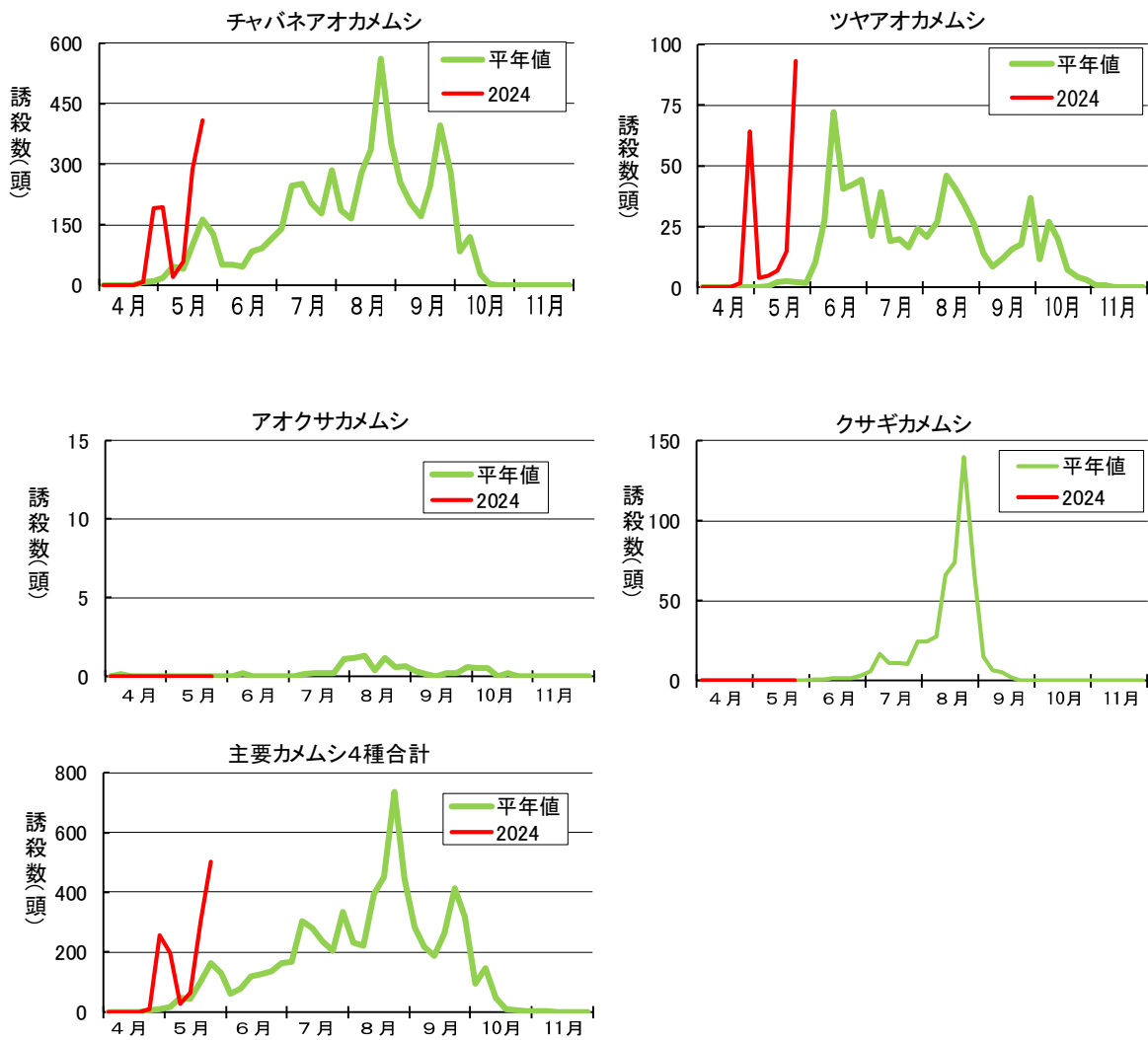
---

令和6年度 病害虫発生調査速報 第1号

1. 病害虫名： 果樹のカメムシ類
2. 対象作物： モモ、ナシ等（特に山林隣接園）
3. 調査結果の概要
  - 1) 農業試験場（綾歌郡綾川町）の予察灯において、5月21日～25日のカメムシ類（主要4種：チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ（第1図）、アオクサカメムシ）の誘殺数は、平年の3.1倍（本年：503頭、平年：164.4頭）であった（第2図）。特に、チャバネアオカメムシの誘殺数は平年の2.5倍（本年：410頭、平年：162.1頭）であり、ツヤアオカメムシの誘殺数は平年の51.7倍（本年：93頭、平年：1.8頭）であった。
  - 2) 府中果樹研究所（坂出市府中町）の予察灯において、5月21日～25日のカメムシ類（主要4種：チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ、アオクサカメムシ）の誘殺数は、平年の20.2倍（本年：652頭、平年：32.2頭）であった（第3図）。特に、チャバネアオカメムシの誘殺数は平年の20.3倍（本年：323頭、平年：15.9頭）であり、ツヤアオカメムシの誘殺数は平年の22.4倍（本年：327頭、平年：14.6頭）であった。
  - 3) 5月下旬の巡回調査において、カメムシによるモモ果実の被害発生圃場率は71.4%（平年：1.9%）と高く、被害果率は2.0%（平年：1.0%）であった（第1表）（第4図）。
  - 4) カメムシ類の発生量が多いことから、県下主要果樹であるモモ、ナシ等（特に山林隣接園）での被害が懸念されるため、早めに防除を行う必要がある。
4. 防除対策  
防除対策については5月30日発表の技術情報を参考に実施する。

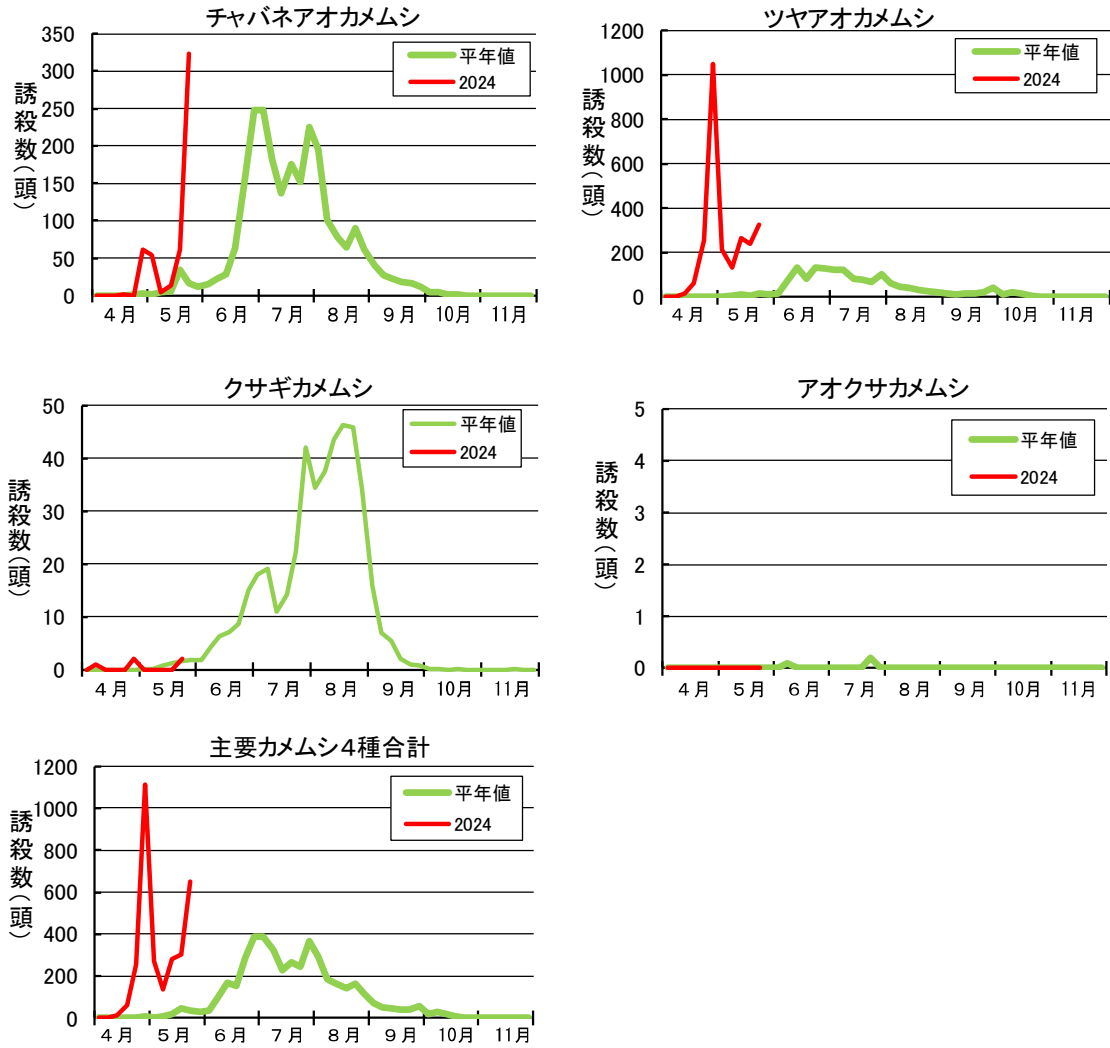


第1図 誘殺数の多い果樹カメムシ類  
(左からチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)



第2図 農業試験場（綾歌郡綾川町）の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺状況

カメムシ類半旬別誘殺数(県予察圃場予察灯、坂出市・府中果樹研究所)



第3図 府中果樹研究所(坂出市府中町)の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺状況

第1表 カメムシによるモモ果実の被害状況

発生圃場率				被害果率			
年度/月旬	5月 中下旬	6月 中旬	7月 中旬	年度/月旬	5月 中下旬	6月 中旬	7月 中旬
2014		5.6	0.0	2014		1.0	
2015	0.0	0.0	16.7	2015			1.0
2016	0.0	16.7	12.5	2016		1.0	1.0
2017	0.0	0.0	0.0	2017			
2018		0.0	0.0	2018			
2019	0.0	0.0	0.0	2019			
2020	15.4	0.0	6.7	2020	1.0		0.5
2021	0.0	0.0	0.0	2021			
2022	0.0	0.0	0.0	2022			
2023	0.0	0.0	0.0	2023			
2024	71.4			2024	2.0		
平年値	1.9	2.2	3.6	平年値	1.0	1.0	0.8



第4図 吸汁部位からヤニが漏出したモモ果実

- ・住宅地等に接した地域及び広範囲に防除する場合は、散布する前に付近住民などに周知するとともに、飛散しにくい農薬を使用するようにしましょう。
- ・農薬散布は、無風又は風が弱いときに行うなど、近隣に影響が少ない天候の日や時間帯を選び、風向き、ノズルの向き等に注意して飛散防止を心がけましょう。

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichuboj/index.html>

